

令和6年5月14日  
松山河川国道事務所

## 排水ポンプ車の設置及び排水訓練を実施します

～洪水対応に万全を期すために～

本格的な梅雨シーズンを前に、万一の洪水時にも迅速な対応を行えるよう新しい排水ポンプ車を含め、排水訓練を下記のとおり実施します。

### 1. 実施年月日

令和6年5月21日（火）10:30～16:00

### 2. 実施場所・スケジュール

場所：松山市古川南：かきつばた樋門（重信川右岸側6km300）付近  
〈資料-1〉訓練実施場所 位置図

### 3. 訓練対象者

洪水時等に排水作業を行う河川維持工事の受注業者（2社・約20名）

### 4. その他

当日は上記の時間帯に取材可能です。直接現地へお越してください。  
雨天決行です。ただし、大雨・大地震等の場合は中止します。

### 【参考】

～ 四国地方整備局における排水ポンプ車の保有状況 ～

四国地方整備局管内では、令和6年度3月現在で計35台を保有しており、そのうち松山河川国道事務所では2台を保有しています。

～ 松山河川国道事務所の排水ポンプ車の主な出動実績 ～

令和2年7月 伊予郡砥部町の排水支援・大洲河川国道事務所管内への派遣  
令和元年8月・10月 九州豪雨災害（佐賀県）・台風19号（長野県等）の支援  
平成30年7月 伊予郡砥部町の排水支援  
平成29年10月 伊予郡砥部町の排水支援  
平成29年9月 伊予郡砥部町の排水支援  
平成27年9月 関東豪雨災害（鬼怒川堤防決壊）の排水支援  
平成26年8月 伊予郡砥部町の排水支援  
平成25年9月 伊予郡砥部町の排水支援  
平成24年7月 九州北部豪雨の排水支援  
平成23年3月 東日本大震災の排水支援

〈資料-2〉 松山河川国道事務所保有の排水ポンプ車の性能

〈資料-3〉 排水作業状況写真

※本施策は、四国圏広域地方計画「No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への『支国』防災力向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

問い合わせ先： 四国地方整備局松山河川国道事務所

副所長（河川）：酒巻 政夫（内線：204）

◎ 防災課長 富永 健介（内線：281）

防災課直通 089-972-7289 ◎：主な問い合わせ先

〈資料－１〉 訓練実施場所 位置図



訓練場所図

この地図は、国土地理院の地理院地図に加筆したものである。  
 〒790-0943 愛媛県松山市古川南3丁目 古川はなみずき通り重信川土手近く

訓練スケジュール

10:30	開会挨拶		
10:40	排水ポンプ車 (30m <sup>3</sup> /min)	設置開始	
11:30	排水ポンプ車 (30m <sup>3</sup> /min)	撤去完了	
12:00	昼休憩		
13:00	排水ポンプ車 (60m <sup>3</sup> /min)	設置開始	(1回目)
14:30	排水ポンプ車 (60m <sup>3</sup> /min)	撤去完了	(1回目)
14:40	排水ポンプ車 (60m <sup>3</sup> /min)	設置開始	(2回目)
15:50	排水ポンプ車 (60m <sup>3</sup> /min)	撤去完了	(2回目)
16:00	訓練終了・閉会挨拶		

〈資料－２〉 松山河川国道事務所保有の排水ポンプ車の性能と諸元

登録番号	愛媛800は5561	愛媛800は6463
建設機械番号	21-4895	R05-4891
導入年度	平成21年度	令和5年度
総排水量	30m <sup>3</sup> /min	60m <sup>3</sup> /min
ポンプ形式	水中モータ駆動ポンプ	
ポンプ台数	4台	12台
ポンプ口径	φ200mm	
全揚程	10m	
ポンプ重量	35kg/台	
車両の長さ	8.25m	10.28m
車両の幅	2.47m	2.49m
車両の高さ	2.90m	3.14m
車両総重量	10.20t	18.70t
乗車定員	2人	2人



排水ポンプ車（総排水量30m<sup>3</sup>/min）



排水ポンプ車（総排水量60m<sup>3</sup>/min）



排水作業概要図



実際のポンプ（7.5m<sup>3</sup>/min）

〈資料－3〉 排水状況写真



写真－1 平成27年9月 関東豪雨災害（鬼怒川堤防決壊）での排水支援（茨城県常総市）



写真－2 平成24年7月 九州北部豪雨での排水支援（熊本県阿蘇市一の宮）



写真－3 過去の訓練の様子・全景（上段：令和5年度、下段：平成28年度（夜間訓練））